

講習／授業科目名	「日本式教育」言語化演習
担当者	丸山恭司・草原和博
実施方法	対面 ／オンデマンド／同時双方向
実施場所（対面の場合）	人間社会科学研究科 B101
講習／授業科目の別	講習 ／授業科目
時間数	合計 10 時間
単位数（授業科目の場合）※	
講習／授業計画 1 時間×10 回＝合計 10 時間 ・第 1 回：大学学部の教職課程で使用する言語体系 ・第 2 回：大学院の専門教育で使用する言語体系 ・第 3 回：大学院のゼミ指導で使用する言語体系 ・第 4 回：日本式教育ハイライトで使用する言語体系 ・第 5 回：小学校の教育実践－教科指導－で使用する言語体系 ・第 6 回：小学校の教育実践－教科外指導（特別活動）－で使用する言語体系 ・第 7 回：中学校の教育実践－教科指導－で使用する言語体系 ・第 8 回：中学校の教育実践－教科外指導（特別活動）－で使用する言語体系 ・第 9 回：小学校の教員研修で使用する言語体系 ・第 10 回：中学校の教員研修で使用する言語体系	
教科書・参考書等（あれば）	
評価の基準等 ・「日本式教育」に関する現象・概念（30 語程度）を、異なる社会的・文化的文脈で理解可能な言語に翻訳できているか ・事後指導と相互対話を通じて、各自の言語理解を協働で省察・修正し、「日本式教育」に関するウェブ辞書を共同編纂できているか ・「日本式教育」に関するウェブ辞書（現地語と日本語）には、適切な意味解説に加えて、語法・用例を示す適切な事例（動画や写真を含む）が設定されているかの 3 点を中心に評価する。	

※単位認定を希望する場合は、履修証明プログラム履修生としての申請とは別に、本学の科目等履修生として出願し、入学の許可を受けなければなりません。